

「残酒運転」にご注意を——。運送業界の事故防止に取り組む大阪市のNPO法人「ヘルスケアネットワーク」が、前日の酒が残ったままハンドルを握ることがないように作成したポスター「知らないうちに『酒気帯び運転』」写真が、業界を超えて人気だ。

体重60キの人を想定して、飲んでから体内でアルコールが分解されるまでにかかる時間を、酒の種類や量に応じて早見表にした。たとえば、日本酒2合で7時間強、ワインならグラス1杯で2時間——という具合にグラフ化。ビール500ミリ・炒と日本酒2合を併せて飲むと、半日近くを要することがわかる。

同法人理事の作本貞子さんは「個人差もあり、睡眠中は肝臓の活動が弱まるので、ポスターの数字より、さらに時間がかかります」と注意を促す。

2010年4月に発行し、すでに

前日の酒体に残ったままの 酒気帯び運転 ご注意!!

7000枚以上を販売、学校関係者や損害保険会社からも注文があるという。作本さんは「一晩寝れば大丈夫だと甘く考え、二日酔い運転の認識が薄い人も少なくない。ポスターを通じて身近な問題としてとらえて」と話している。

1部1575円で、3部から販売。問い合わせは同法人(06・6965・3666)。

知らないうちに「酒気帯び運転」

アルコールが抜けると予想される所要時間の目安
体重60キの人を想定して、飲んでから体内でアルコールが分解されるまでにかかる時間を、酒の種類や量に応じて早見表にした。

種類	量	所要時間
ビール	500ml	約1.5時間
日本酒	2合	約7時間
ワイン	1杯	約2時間
焼酎	1合	約2時間
ウイスキー	1杯	約2時間
ラムネ	1杯	約2時間
その他		

